

## 第3回（仮称）リニア山梨県駅前エリアのまちづくり基本計画検討委員会

# まちの機能の検討について

1. まちの将来像と土地利用の考え方
2. シナリオ1：生活分野（既に圏域で生活している住民・従業者）
3. シナリオ2：生活分野（新たに移住・二地域拠点生活を始める利用者）
4. シナリオ3：産業分野（テストベッドの聖地化の実現の担い手となる技術者、研究者、ビジネスマン）
5. シナリオ4：観光分野（団体旅行ではない外国人観光客）
6. 本日のまとめ

令和6年10月4日（金）

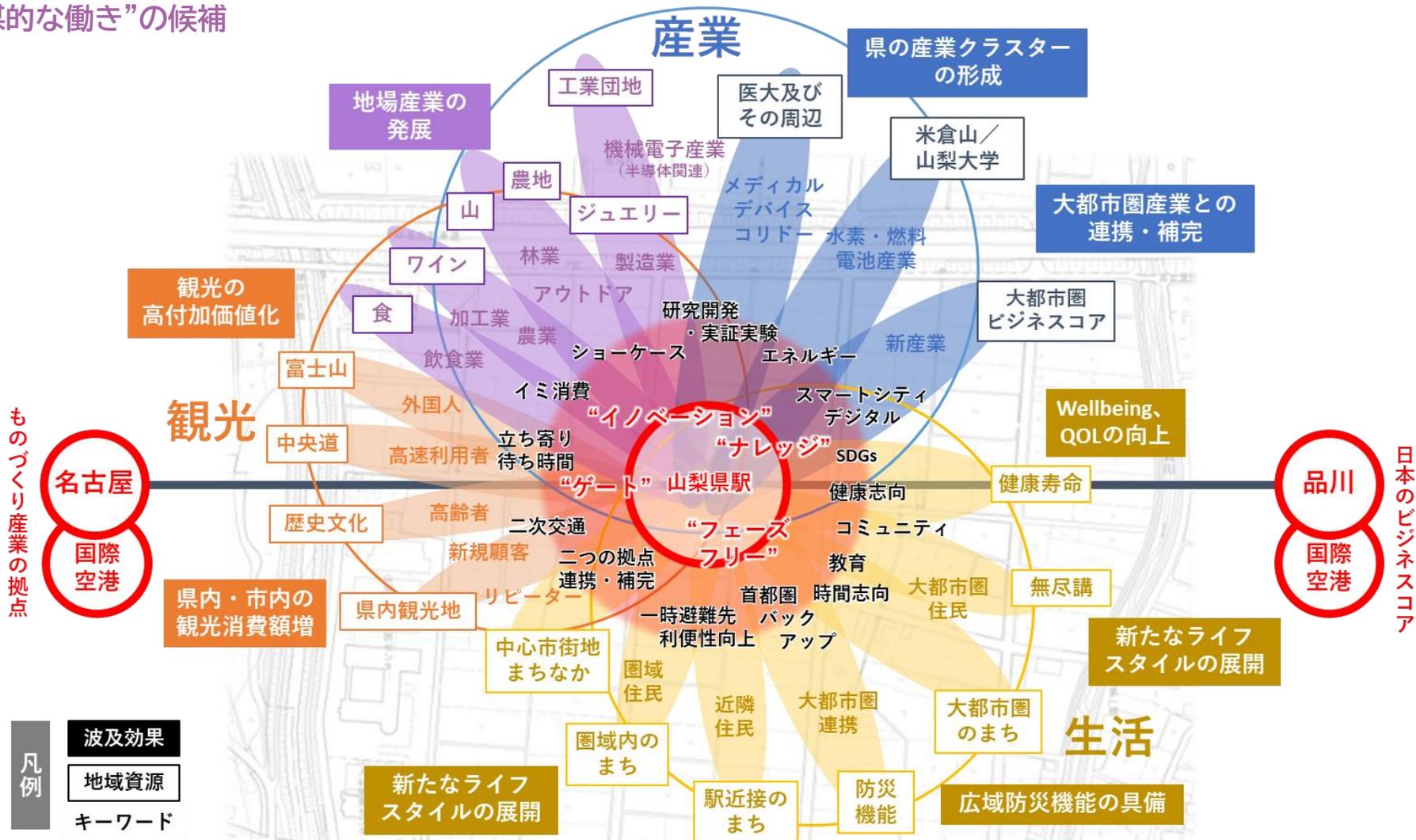
甲府市

# 1. まちの将来像と土地利用の考え方

## (1) まちの将来像 (第2回検討委員会資料より)

- 既存の地域資源やリニア開業を契機に生まれる需要を踏まえ、それらが混ざりあうことで新たな価値を生みつつ、各分野に開業効果を波及させる「触媒的な働き」の候補を図示すると以下の通り。

### “触媒的な働き”の候補



上記に示すものは取組の可能性を示したもので、行政が実現を約束するものではありません。

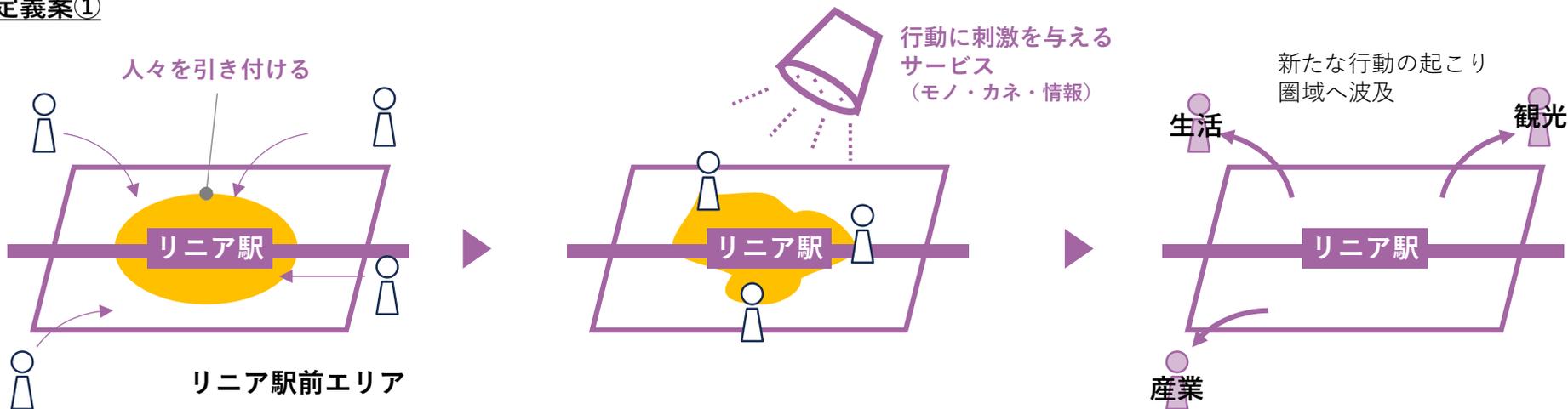
# 1. まちの将来像と土地利用の考え方

## (2) 触媒的な働きをするまちに期待される機能

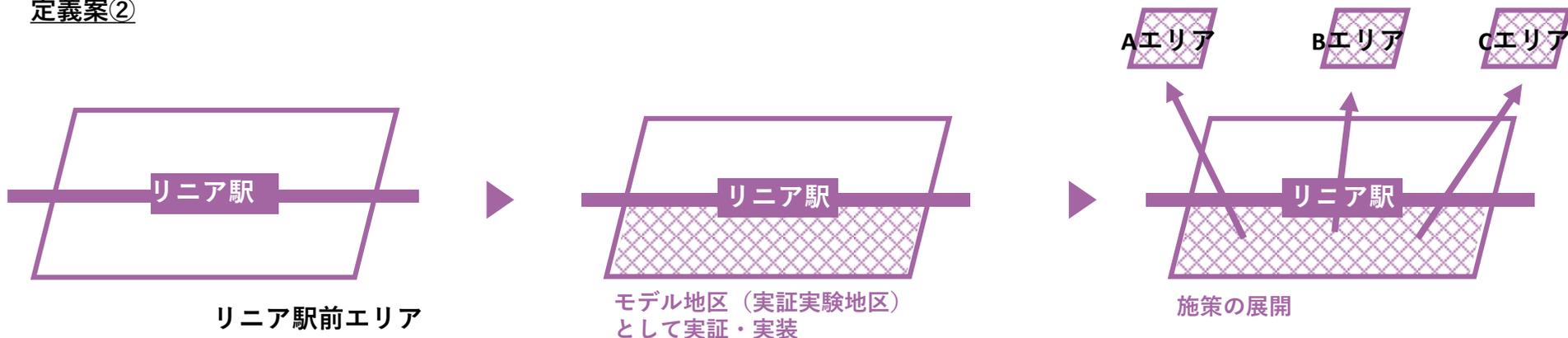
触媒的な働きをするまちとは、以下のような機能を有するまちとしての定義を試みる

- ① 県内外から多様な人々（ヒト）が集まり相互に交流するとともに、モノ・カネ・情報などの刺激により、人々に新たな行動を起こさせるまち。
- ② 先駆的な地区となって新たに実験的な取組・施策が起こり、圏域の他地区に施策が展開していくまち。

### 定義案①



### 定義案②



# 1. まちの将来像と土地利用の考え方

## (3) まちの機能の検討に関する2つの論点

リニア時代は、バーチャル空間が普及する時代だからこそ、  
「人がリアルに集まり交流する場所」という価値がより一層高まる  
→交流拠点としてのリニア駅前エリアの可能性

### 本日のメイン

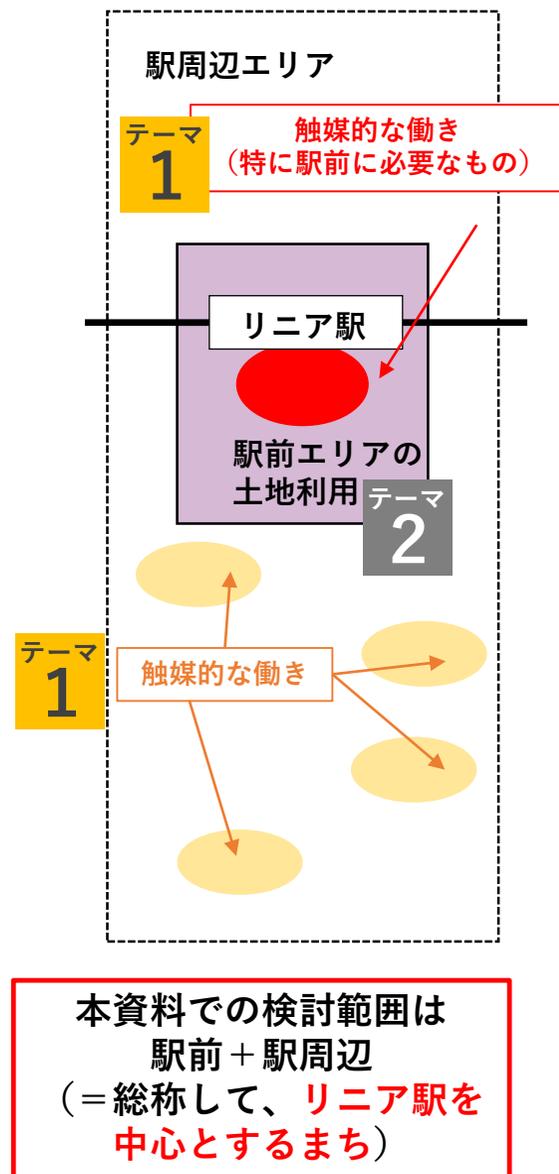
#### テーマ 1

- 生活・産業・観光の各分野ごとに利用者（ターゲット）を設定し、“期待されるシナリオ”を考え、圏域への開業効果を波及させるために必要な“触媒的な働き”を検討する。

リニア駅沿線の中で希少なゼロベースで開発できる、  
まとまった場所 →事業用地としてのリニア駅前エリアの可能性

#### テーマ 2

- 当該地区を都市的土地利用するためには、新たな都市計画の位置づけが必要（市街化調整区域のため）。
- 都市計画を定めるには「具体的な土地利用計画（用途と規模）」が求められる。
- 触媒的な働きの検討も踏まえる中で、まちの主要用途についても今後検討を深めていく。



# 1. まちの将来像と土地利用の考え方

## (4) リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議 中間とりまとめ (内閣官房)

### リニア中間駅を始めとした新たな広域圏形成 ~かがやく未来へ~

- 「日本中央回廊」の核となる新たな圏域形成により、多様な自然や文化を有する地域を内包する新たな経済集積圏域の形成を目指す。
- ①生活・交流②産業・しごと③観光④交通ネットワークという4つのテーマに基づく施策の実現により、新たな圏域形成の効果を広域に波及させる。
- 地域活性化やダブルネットワークによるリダンダンシーの確保を図る。



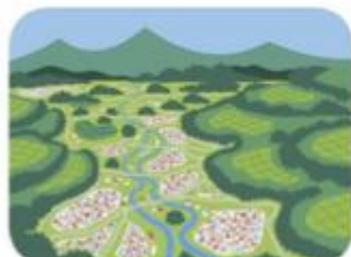
【生活・交流】

未来を呼ぶ、新しい暮らしの風景 ～地域生活圏の形成、二地域居住の促進へ～

- リニア中間駅を核とした高速交通ネットワークの強化やテレワークの普及等を通じて、新たな暮らし方・働き方の先導モデルの形成を図る。
- 新しいライフスタイルとしての「二地域居住」や「転職なき移住」の促進に向けて、空き家等の既存ストックの活用を含めた良質な住宅の提供やサテライトオフィス等の環境整備を進め、新たなライフスタイルを実現する。

「地域生活圏」の形成

行政区域にとらわれず、官民のパートナーシップや事業間連携により、デジタルを徹底活用しながら、暮らしに必要なサービスが持続的に提供される「地域生活圏」を形成



新たな人の流れの創出による転職なき移住・二地域居住等の促進

自然環境をいかしたアクティビティと仕事の両立等、都市と地方にまたがる新しいライフスタイルの提供により、移住・二地域居住を促進



※各駅間の所要時間については、令和元年度版国土交通白書



DXを活用した生活環境整備

遠隔医療の推進による医療提供体制の強化やドローンの導入等によるスマート物流の推進等、DXを活用した質の高い生活環境の整備を推進

## 2. シナリオ 1：生活分野（既に圏域で生活している住民・従業者）

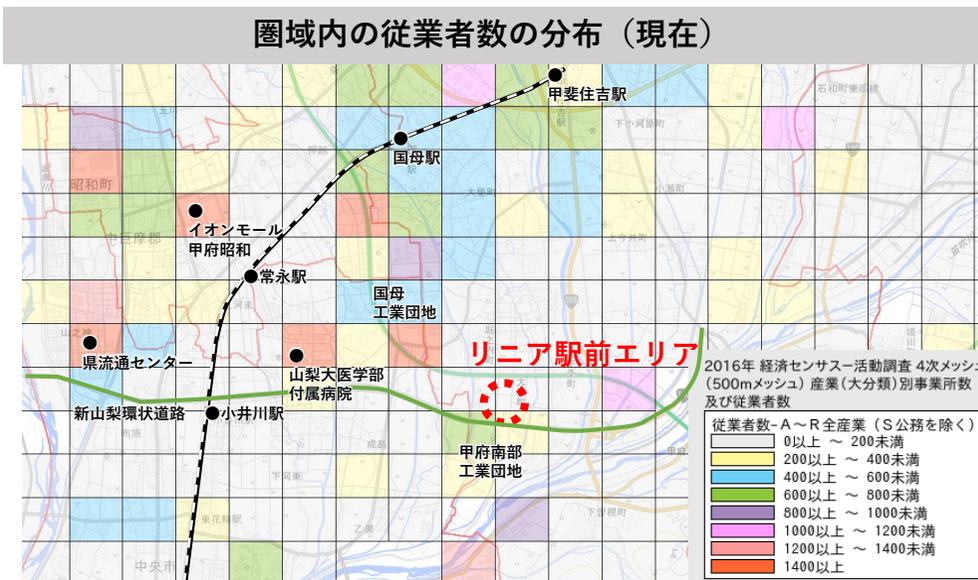
### (1) 圏域で生活している住民・従業者の実態

- リニア駅周辺の昭和町・中央市・笛吹市などに居住する若年層が多いため、リニア開業時点においても人口が維持される可能性が高い。
- 昭和町や中央市は圏域市町からの通勤者も多く、昼間・夜間ともに人が集まるエリアでもある。
- リニア駅前エリアには、圏域住民や従業者への生活サービス拠点として機能する可能性はある。



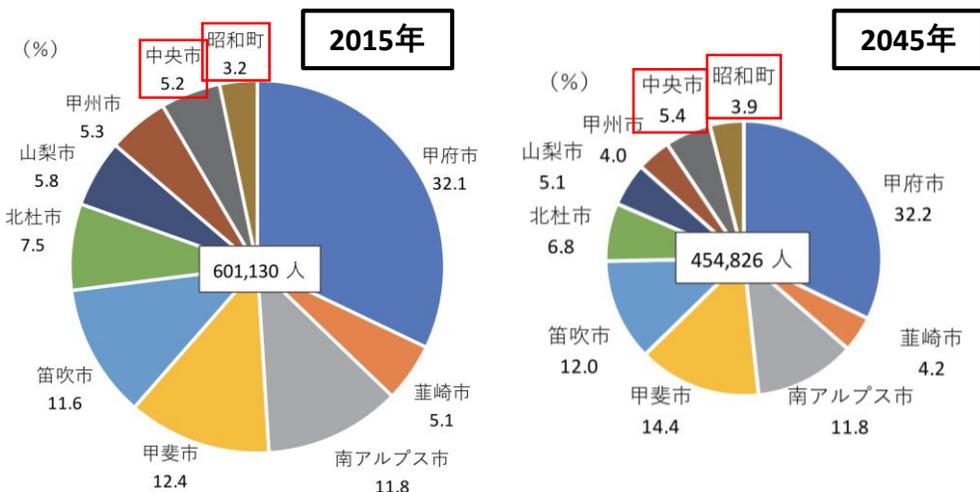
**【対象とする圏域】**  
**やまなし県央連携中枢都市圏**  
**(県央ネットやまなし)**  
 ・人口：593,156人  
 (2022年1月1日住民基本台帳人口)  
 ・面積：2,091.33km<sup>2</sup>  
 (国土地理院2022年全国都道府県市町村別面積調)

左図：県央ネットやまなしの構成市町とリニア開業後品川駅から1時間で到達できる範囲（赤線範囲内）

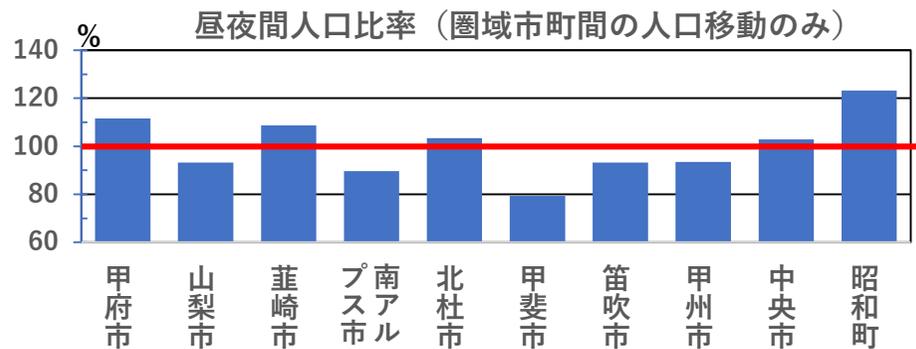


(出典：2016年経済センサス活動調査)

### 圏域構成市町別の人口割合の現在と将来



(出典：やまなし県央連携中枢都市圏ビジョン)



(出典：令和2年国勢調査)

## 2. シナリオ 1：生活分野（既に圏域で生活している住民・従業者）

### （2）期待するシナリオと、想定される圏域内の波及

#### 期待するシナリオ

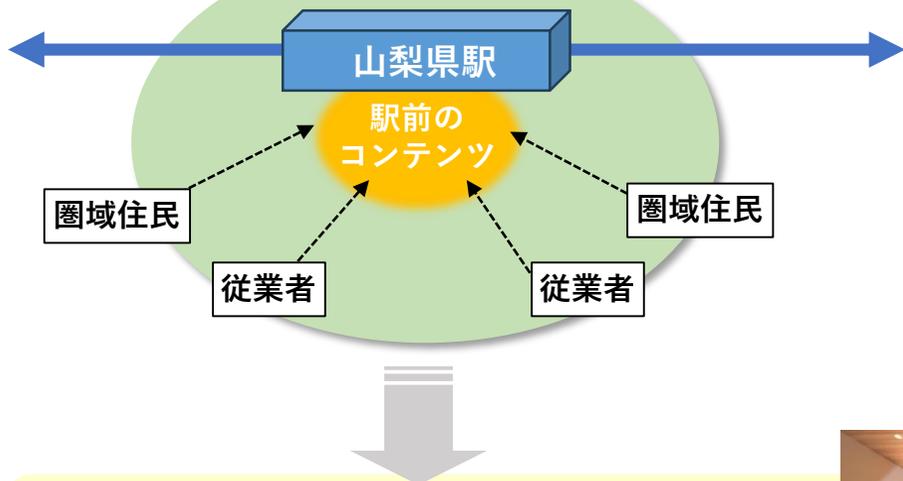
圏域内の住民や従業者が仕事帰りや休日にリニア駅前エリアに立ち寄り、訪れ、様々な人と交流を行う。

#### <ペルソナ>

- リニア駅周辺に所在する企業で働く。住まいも郊外住宅地。
- 生活や仕事に関するイベント等がリニア駅前で開催されるようになり、仕事前後に立ち寄り、訪れる。
- 新しい情報に触れ刺激を受ける機会が増える。



#### リニア駅を中心としたまち



#### リニア駅を中心としたまちでの触媒的な働き（案）

- イベント交流機能、生活利便施設
- サテライトワーク拠点（コワーキングスペース）
- 次世代モビリティ、自動運転サービス 等



#### 想定される圏域内への波及

- 圏域内外の交流が促進されることで、地域の魅力と新たなトレンドが融合し、山梨のライフスタイル・ワークスタイルの多様化や高質化が促される。



### 3. シナリオ2：生活分野（新たに移住・二地域拠点生活を始める利用者）

#### (1) 移住・二地域居住生活の現状

- 新幹線開業による人口変化や新幹線駅が設置された自治体の直近の県外からの転入率を勘案すると、リニア開業により本圏域においてもこれらの自治体平均レベルの転入率を実現できる可能性がある。
- 今後、これらのデータの精査を行いながら、まちづくりの目標設定の参考とする。

#### (1) 県外住民アンケート（2012.1実施）

出典：山梨県リニア活用基本構想（資料編）

調査方法：インターネット調査（N=630）

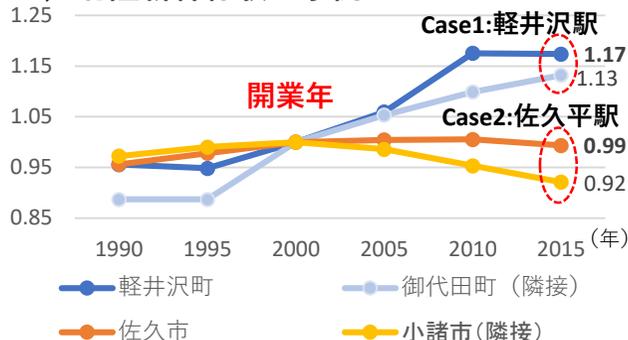
開業年次：2027年、予測年次：2035年

年代	転入者数	割合
20代	2,862	19.5%
30代	2,627	17.9%
40代	2,684	18.3%
50代	3,110	21.2%
60代	3,382	23.1%
全体	14,665	100.0%

参考  
開業年次の  
移住人口  
約3,800人  
↓  
開業後  
約8年で  
県全体で  
約11,000人  
(1,358人/年)

#### (3) 新幹線駅設置市の人口変化

##### 1) 北陸新幹線駅の事例



##### 2) 県外からの転入者数

(R2国勢調査)

調査対象：首都圏及び隣接県の新幹線駅

市町名	新幹線	人口	5年前の常住地が他県	割合
宇都宮市	東北	518,757	27,258	5.25%
小山市	東北	166,666	10,408	6.24%
高崎市	上越	372,973	19,319	5.18%
本庄市	上越	78,569	4,079	5.19%
小田原市	東海道	188,856	6,662	3.53%
熱海市	東海道	34,208	3,950	11.55%
三島市	東海道	107,783	5,171	4.80%
佐久市	北陸	98,199	4,271	4.35%
軽井沢町	北陸	19,188	1,878	9.79%
県外からの転入者割合 (平均)				5.24%

#### (4) 県外からの転入状況

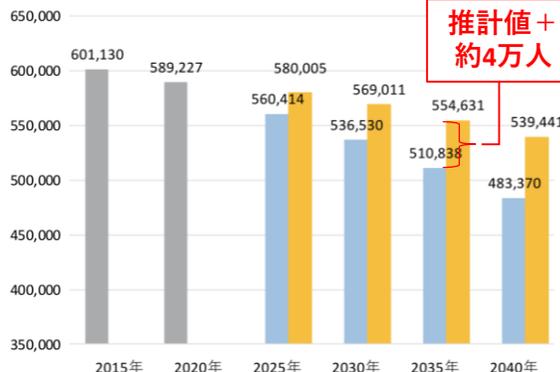
(R2国勢調査)

	人口	5年前の常住地が県外	
甲府市	189,591	12,521	6.6%
韮崎市	29,067	1,186	4.1%
南アルプス市	69,459	1,360	2.0%
甲斐市	75,313	3,293	4.4%
笛吹市	66,947	1,762	2.6%
北杜市	44,053	3,177	7.2%
山梨市	33,435	745	2.2%
甲州市	29,237	594	2.0%
中央市	31,216	1,172	3.8%
昭和町	20,909	1,205	5.8%
圏域合計	589,227	27,015	4.6%
参考：山梨県	809,974	37,951	4.7%

→県全体に占める圏域内への転入：71.2%

#### (2) 圏域の将来人口推計

■実績値 (国勢調査) ■推計値 (社人研) ■将来の目標人口 (人)



資料：【実績値】総務省「国勢調査」、【推計値】国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2018（平成30）年推計）」、【将来目標人口】各市町人口ビジョン

#### 目標設定パターン (案)

- パターン1：新幹線設置駅並みの移住の実現
- パターン2：県アンケート並みの移住の実現

	リニア開業による新たな転入者 (5年合計)	現在の県外転入者 (5年合計)	県外転入率 (目標)
パターン1	4,074	31,089	5.24%
パターン2	4,826 (1,358人×71%×5年)	31,841	5.36%

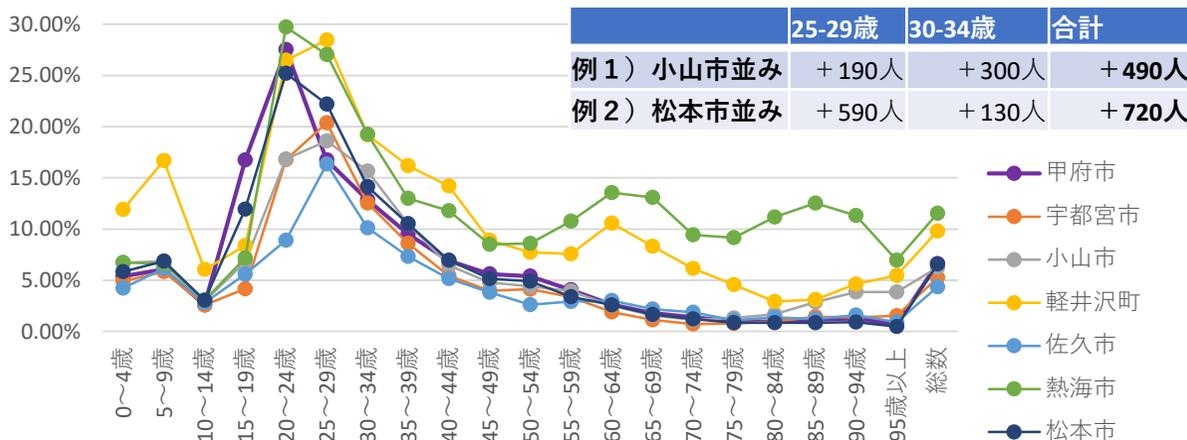
# 3. シナリオ 2：生活分野（新たに移住・二地域拠点生活を始める利用者）

## (2) 移住・二地域居住生活の実現に向けて

- 新たな暮らし方、働き方の主役となり得るファミリー層を他自治体並みに押し上げる戦略・戦術が必要。

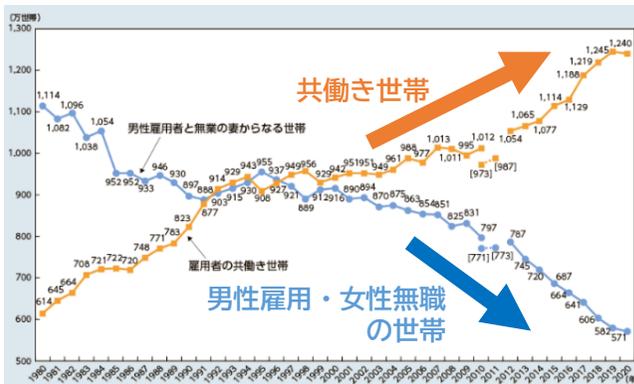
### (各年齢層の人口に占める県外からの転入者の割合)

甲府市は15～24歳の学生層において県外転入率が高い傾向にあるが、25～34歳のファミリー層の県外転入率は伸び代があるといえる。



出典：令和2年国勢調査

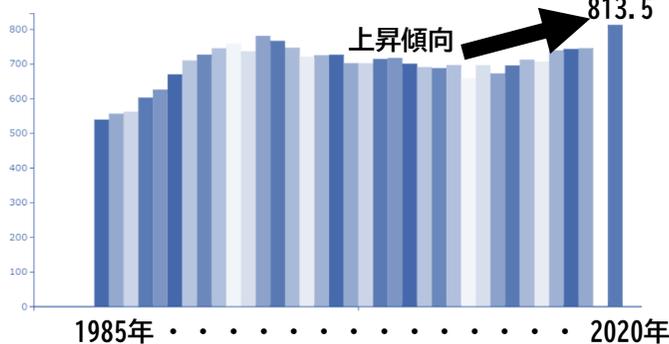
### (共働き世帯の年次推移)



出典：厚生労働省

→ 共働き世帯は年々上昇傾向にある。

### (子どもがいる世帯の平均所得)



出典：令和3年国民生活基礎調査

→ 子どもがいる世帯の平均所得も年々上昇傾向にあり、共働き世帯の増加と比例している。

### (首都圏民・山梨県民の住環境への不満)

- 山梨県は「鉄道やバスなどの交通機関が不便」、東京都・神奈川県よりも30ポイント高い。
- 東京都・神奈川県は「住宅が高い」、「住宅や敷地が狭い」が高い。

設問：現在お住まいの都道府県について、居住する環境として不満に感じているもの・人に魅力として伝えられないものを選択してください。

	居住地	
	山梨県	東京都・神奈川県
合計	445	213
住宅が高い	8.5%	36.6%
住宅や敷地が狭い	5.8%	24.4%
戸建住宅が少なく、選択しにくい	4.0%	4.7%
集合住宅が少なく、選択しにくい	4.3%	4.2%
新築住宅が選択しにくい	4.5%	8.0%
自然が少なく	1.8%	11.7%
気候や風土が良くない	6.7%	2.8%
治安や風紀が良くない	3.4%	13.1%
地域の住民のつながりが少ない・ない	5.6%	7.5%
地域の文化・歴史が乏しい	3.1%	6.6%
まち並みが整っていない	10.8%	3.8%
まちのイメージに魅力がない	11.0%	7.5%
公園、広場などが少ない・ない	16.4%	5.2%
学校や文化施設が少ない・ない	10.3%	3.8%
コワーキングスペースなど仕事のできる環境が整っていない	10.3%	4.2%
道路整備が不十分	17.8%	8.9%
買物や医療など日常生活が不便	17.8%	3.3%
鉄道やバスなどの交通機関が不便	43.1%	8.5%
農業に取り込みにくい	2.9%	9.4%
その他	5.8%	6.6%

出典：住環境に関する人口減少危機対策基礎調査結果の概要について（山梨県、R5）

### (地方移住・転職を考えるきっかけ)



出典：2022（令和4）年 国民生活基礎調査の概況

→ 子育て世代の地方移住や転職のきっかけは、『自然豊かな環境での子育て』の理由が最も多い

### 3. シナリオ 2：生活分野（新たに移住・二地域拠点生活を始める利用者）

#### (3) 期待するシナリオと、想定される圏域内の波及

##### 期待するシナリオ

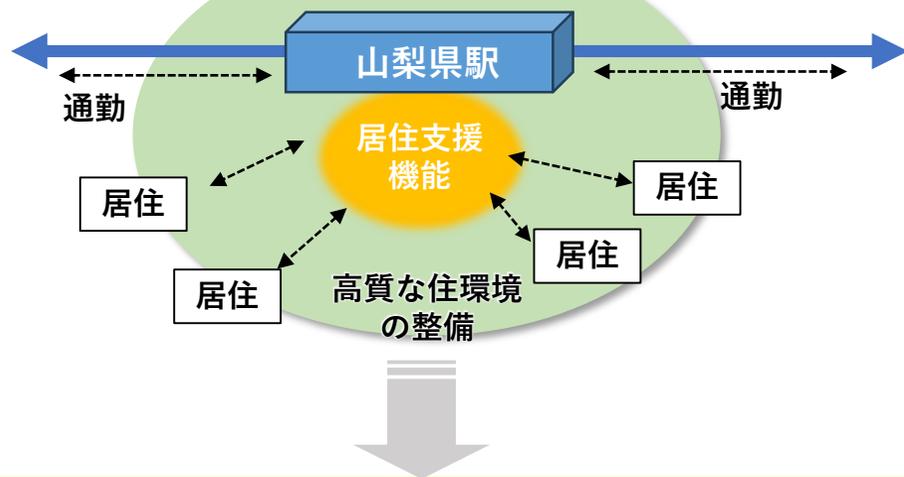
山梨の持つ自然環境や風土と都心へのアクセス性の良さが評価され、ファミリー層の移住や二地域居住が加速する。居住支援機能が揃うリニア駅前を訪れ、人々と交流する。

##### <ペルソナ>

- 夫婦（もしくはどちらかが）都内企業で働く子育て世帯
- 週1回程度の出社（リニア利用）で、残りはテレワークで実施
- 週末は、山梨の自然を満喫（アウトドア、農業など）



##### リニア駅を中心としたまち



##### リニア駅を中心としたまちでの触媒的な働き（案）

- 子育て支援、生活利便施設、教育・体験機能
- サテライトワーク拠点（テレワーク対応スペース）
- 高質な住宅
- 次世代モビリティ、自動運転サービス



##### 想定される圏域内への波及

- 高質な住宅や居住環境の追求、公共交通志向型の暮らし方、リモートワークなど、山梨のライフスタイル・ワークスタイルの多様化や高質化が促され、まちのブランド力の向上が図られる。



【産業・しごと】

リニア中間駅から広がる次世代のビジネスフロンティア ～人流・物流の活性化による産業創造へ～

- 全国各地との時間距離短縮の効果をいかし、サテライトオフィス拠点やインキュベーション施設の設置、新たな産業創出に取り組むスタートアップ企業の誘致等、国内外各都市と新たな圏域の「人流」「物流」の活性化を図り、多様な自然や文化を有する地域を内包する世界に類を見ない魅力的な経済集積圏域を形成する。
- リニア中間駅周辺地域の先端技術拠点の形成や地場産業の強みをいかし、ビジネス・商圏・販路の拡大につなげることで、新たな圏域全体の活力を広域に波及させ我が国の成長を牽(けん)引する。

先端技術の拠点とイノベーションハブの形成

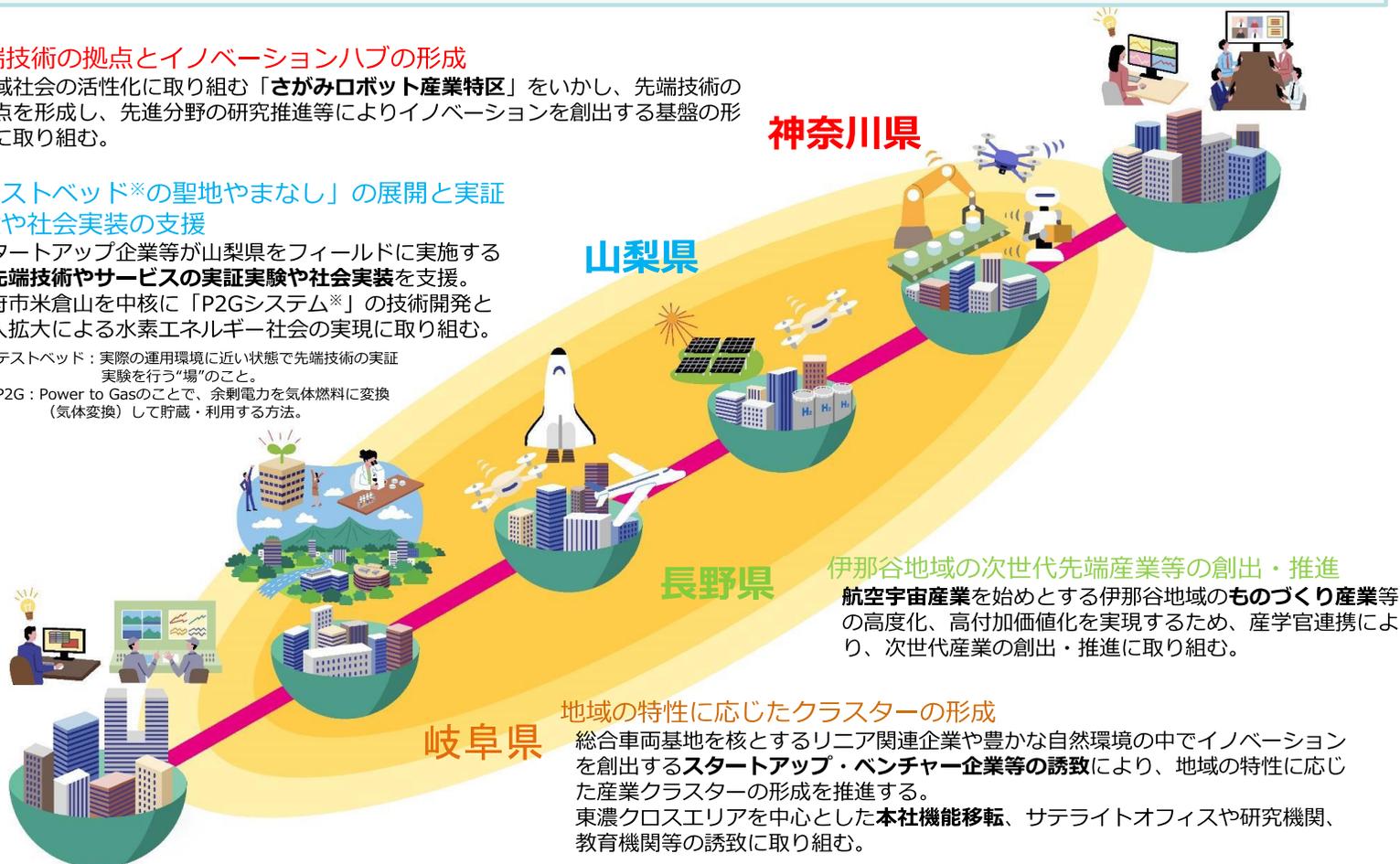
地域社会の活性化に取り組む「さがみロボット産業特区」をいかし、先端技術の拠点を形成し、先進分野の研究推進等によりイノベーションを創出する基盤の形成に取り組む。

「テストベッド※の聖地やまなし」の展開と実証実験や社会実装の支援

スタートアップ企業等が山梨県をフィールドに実施する最先端技術やサービスの実証実験や社会実装を支援。甲府市米倉山を中核に「P2Gシステム※」の技術開発と導入拡大による水素エネルギー社会の実現に取り組む。

※テストベッド：実際の運用環境に近い状態で先端技術の実証実験を行う“場”のこと。

※P2G：Power to Gasのことで、余剰電力を気体燃料に変換（気体変換）して貯蔵・利用する方法。



岐阜県

地域の特性に応じたクラスターの形成

総合車両基地を核とするリニア関連企業や豊かな自然環境の中でイノベーションを創出するスタートアップ・ベンチャー企業等の誘致により、地域の特性に応じた産業クラスターの形成を推進する。東濃クロスエリアを中心とした本社機能移転、サテライトオフィスや研究機関、教育機関等の誘致に取り組む。

長野県

伊那谷地域の次世代先端産業等の創出・推進

航空宇宙産業を始めとする伊那谷地域のものづくり産業等の高度化、高付加価値化を実現するため、産学官連携により、次世代産業の創出・推進に取り組む。

山梨県

神奈川県

(2) ビジネス交流の現状と今後の展開

・ テストベッドの聖地化の実現の担い手となる技術者、研究者、ビジネスマンなどをターゲットに設定する。

◇リニアがある山梨が目指す姿

テストベッドを突破口に最先端技術で未来を創る  
オープンプラットフォーム山梨

様々な地域課題の解決に繋がる「テストベッド」の提供を突破口に、国内外の優秀な研究者等が結集し、新たな産業の創出、関連産業の集積や研究開発機能の拠点の形成により「稼ぐ力」を生み出しつつ、世界に先駆けて新たな価値を創造する近未来の窓口としての地位を確立し、オープンプラットフォームで世界に貢献している山梨を目指す

※「テストベッド」とは実際の運用環境に近い状態で先端技術の実証実験を行う“場”のこと

◇目指す姿の実現に向けて取り組む施策

施策：地域特性を活かしたテストベッドの聖地化

リニア開業を待たずに、地域特性を活かした実証実験が盛んに行われる環境づくりを進め、次世代を拓く才能豊かな人材の交流を生み出し、新たなイノベーションが創発される「テストベッドの聖地」としての地位を早期に確立し、国内外に向けて強力に情報発信していく山梨への転換を図ることで、更に有能な人材の対流を山梨で惹起し、その先に見据える関連産業や研究開発機能の集積の原動力となる好循環サイクルの構築によって、県内の良質な雇用の拡大、県民所得の向上に繋げていく

○地域特性を活かしたテストベッド分野

■ 優先的に取り組む分野

➢ 豊富な研究実績と技術シーズが蓄積された「水素・燃料電池関連技術」を中核として、脱炭素社会の実現に向けたテストベッドの誘致に優先的に取り組む

クリーンエネルギー

世界最高レベルの水素・燃料電池関連技術を駆使して、CO<sub>2</sub>フリー水素社会の実現に貢献

- ・ 水素の製造・貯蔵・利用の一気通貫した技術の実用化
- ・ 大幅なコスト削減に向けた研究開発の加速化
- ・ 世界に先駆けて水素社会を実装するモデル都市の形成

■ その他の地域特性を活かした分野

➢ 先端技術の活用により、健康寿命日本一などの本県の強みを更に伸ばしていくことが有効。また、生活の質の向上や地域課題の解決に資する分野についても、関連企業や地元市町村等と調整を図りながら取り組む

ライフサイエンス	次世代モビリティ	無人配送
ビッグデータを活用した高度な予防医療システムの導入	リニア駅発着の次世代モビリティによるシャトルバス運行や中山間地域でのAIタクシー運行	中山間地域での買い物支援や災害時の緊急物資輸送に資するドローンやUGVの活用
スマート農業	自然環境保護・野生鳥獣管理	陸上養殖
病害虫診断システムや自動・半自動で農作業を行う農業ロボット等の導入	ドローン及び画像解析を利用した精度の高い野生鳥獣の生息位置把握手法の開発。ドローンによるわなへの誘導技術の開発	魚の体調・体重測定自動化や、水温・酸素量・給餌等の自動制御など、AI・IoTを活用した生産の自動化

○取り組み手順

➢ 「テストベッドの聖地」として選ばれる山梨に向けて、ビジョン策定後速やかに、以下の手順で取り組みを進めていく

STEP 1 誘致ターゲットの選定

県内の地域課題等の把握・整理、人脉や知見を有するアドバイザーの活用、事業者等との対話を通じて業界ニーズや課題を把握、訴求ポイントの整理

STEP 2 プロモーション活動

企業訪問等によるポテンシャルや魅力の発信、知事のトップセールス、ビジネスグランプリなどの仕掛けづくり、ワンストップ支援体制の構築

STEP 3 実証実験の環境整備

国家戦略特区による規制緩和、県内関係企業等との連携体制の構築、実証フィールドの確保に向けた地元調整、資金的な支援の仕組みの構築

STEP 4 実証実験の実施

実証実験の内容やプロセス、成果の積極的な情報公開、実証実験への参画や先端技術を体験・体感できる機会の確保

STEP 5 実証実験から社会実装への移行

社会実装に向けた規制緩和やガイドライン策定等による支援

TRYやまなし  
実証実験  
サポート

目指す姿の実現に向け、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に対し、山梨県全域において実施する社会実証プロジェクトを全面的にサポート

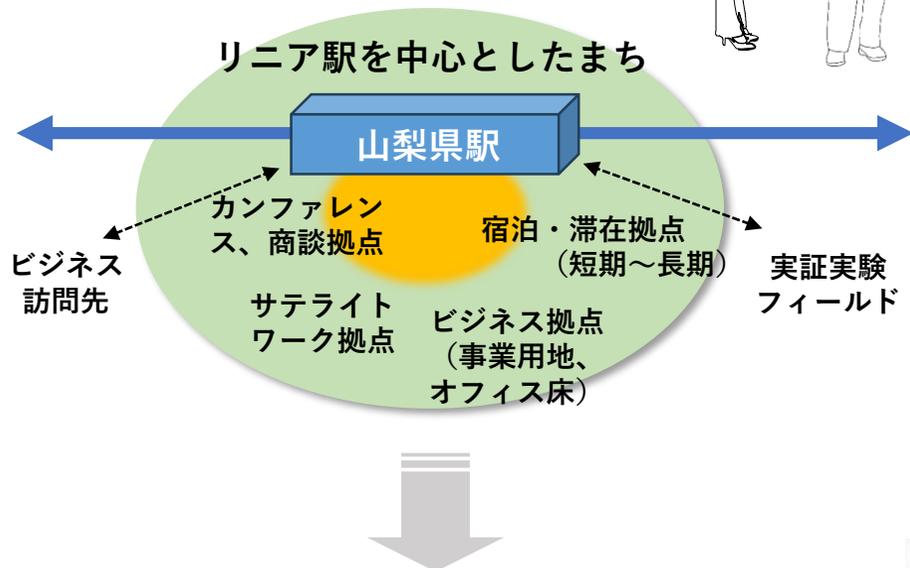
## （3）期待するシナリオと、想定される圏域内の波及

期待する  
シナリオ

都心と本圏域の企業同士、研究者・技術者・経営者などとのビジネス交流が盛んになり、技術革新や事業が創出される。

### <ペルソナ>

- 都内の企業に勤める研究者
- 研究・実証実験フィールドがリニア駅周辺に位置しているため、リニアを使って頻繁に行き来する。集中的に実験を行う際は、駅近傍の短中期滞在施設で生活する。



### リニア駅を中心としたまちでの触媒的な働き（案）

- サテライトワーク拠点（小規模レンタルオフィス）
- カンファレンス、商談拠点（カフェ等）
- 宿泊、滞在拠点（短期～長期）
- ビジネス拠点（事業用地、オフィス床）
- 次世代モビリティ、自動運転サービス（レンタカー的役割）



### 想定される圏域内への波及

- 「産業クラスター」の形成による企業集積、雇用の創出、県内居住者の増加など



【観光】

リニアがつなぐ圏域を越えた魅力の創造 ～世界が注目する新たな広域観光モデルへ～

- リニア中央新幹線の開業による時間距離短縮の効果をいかすとともに、自然・文化等の個性豊かな地域の魅力をいかし、持続可能な広域周遊観光を創出する。
- AIオンデマンド交通や自動運転バス等を活用した観光拠点へのアクセスを強化し、観光消費の増加を促進する。国内外への積極的なプロモーションなど、ハード・ソフト両面の取組によりインバウンド需要も取り込み、二地域居住とも連動した観光交流の拡大につなげる。
- 4県ならではの観光資源・文化資源を保全・活用し、リニア中間駅を核とした世界に選ばれる新たな広域観光モデルを創出する。

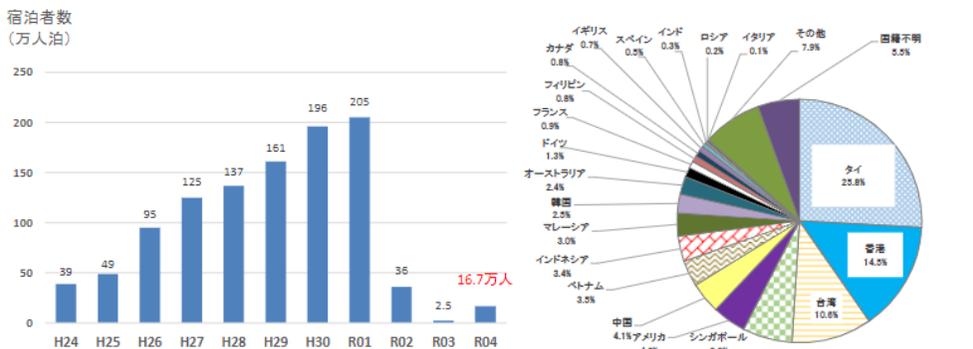


# 5. シナリオ4：観光分野（団体旅行ではない外国人観光客）

## (1) 今後の観光客対応に向けて

- 訪日外国人旅行客の圏域（国中エリア）への呼び込みがテーマと考えられる。
- リニアによる県内への移動時間が短縮され滞在時間を延ばす余地がある中で、国内客とは異なるさまざまな旅行商品や移動サービスの提供に期待される。
- 外国人客の日帰りが中心である観光行動をどのように変えられるかが課題となる。

### (山梨県の外国人延べ宿泊者数の推移と割合)



出典：令和4年山梨県観光入込客統計調査報告書（観光庁宿泊旅行統計調査より）

### (訪日外国人旅行者の推移)



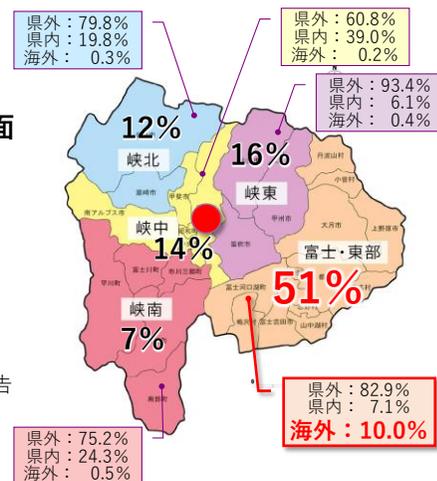
出典：令和5年度観光白書

訪日外国人旅行者は増加傾向。2019年比66.6%まで回復。

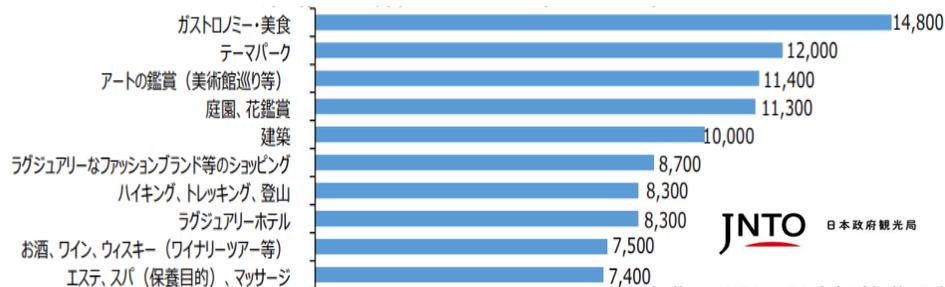
### (訪日外国人旅行者の推移)

- 観光客の約5割は富士・東部方面を観光
- 富士山方面は海外客に特に人気が高い
- ※海外客割合：他方面の20倍以上
- 平均訪問観光地点数は1.4地点

出典：令和元年山梨県観光入込客統計調査報告書（※コロナ前最新）



### (訪日旅行の目的別市場規模 上位10項目)



→海外旅行の目的別市場規模は、「ガストロノミー・美食」「お酒」などの食や、「庭園・花鑑賞」「ハイキング・トレッキング・登山」などの自然が上位を占めている。また、ラグジュアリーホテル自体が目的とされる傾向もある。

## 5. シナリオ 4：観光分野（団体旅行ではない外国人観光客）

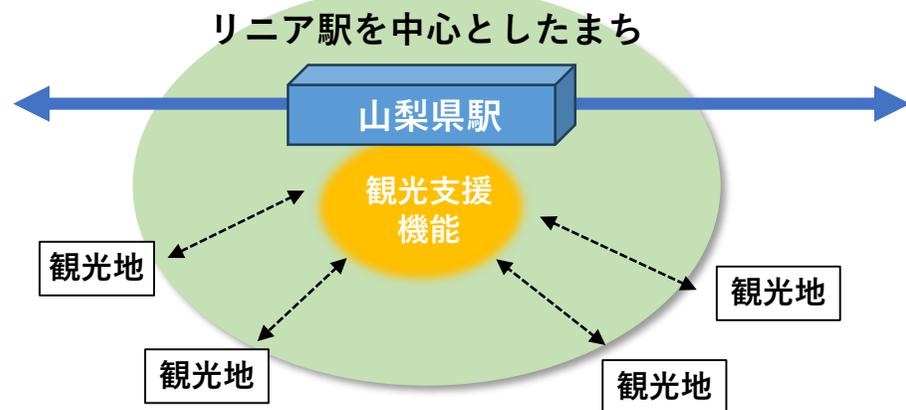
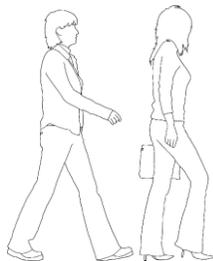
### （2）期待するシナリオと、想定される圏域内の波及

#### 期待されるシナリオ

リニアを利用して本県に訪れる外国人観光客が増加し、移動時間の短縮による国中エリアの観光地にも足を運び、現地で地域住民との交流や文化・資源に触れる機会が増える。

#### <ペルソナ>

- リニアを利用して山梨を友人との個人旅行で訪問。
- 県内の観光地を巡るガイド付きのサービスを利用。
- 夜は地場の食事と酒を楽しみながら宿泊。



#### リニア駅を中心としたまちでの触媒的な働き（案）

- 観光支援機能（インフォメーションなど）
- 物産・物販、飲食施設など（待ち時間を活かした滞在）
- 次世代モビリティ、自動運転サービス（観光タクシー的役割）



#### 県内観光地



#### 想定される圏域内への波及

- 圏域内の観光関連産業（飲食・宿泊・物販・観光農業・交通等を含む）の振興
- 圏域内の自然や文化など、新たな観光資源の発掘・発見
- 外国人等多様な人が共存する社会の醸成 等

## 6. 本日のまとめ（触媒的な働きをするまちのイメージ（案））

- 各分野における触媒的な働き（案）を整理した。本日の意見も踏まえつつ、今後、この検討を深化させる。
- 民間資金を最大限活用しながら触媒的な働きを実現するための方策についても、あわせて検討を行う。

	ターゲット	支援施設系、その他	ビジネス系	交通系
<b>生活分野</b> (圏域住民等)	<u>圏域内の住民や従業者</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント交流機能</li> <li>生活利便施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サテライトワーク拠点 (コワーキングスペース)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代モビリティ、 自動運転サービス</li> </ul>
<b>生活分野</b> (移住等)	新たな暮らし方、働き 方の主役となり得る <u>ファミリー層</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援施設</li> <li>生活利便施設</li> <li>教育、体験機能</li> <li>高質な住宅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サテライトワーク拠点 (テレワーク対応スペース)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代モビリティ、 自動運転サービス</li> </ul>
<b>産業分野</b>	テストベッドの聖地化 の実現の担い手となる <u>技術者、研究者、ビジ ネスマン</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商談拠点（カフェ等）</li> <li>宿泊・滞在拠点（短期～ 長期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サテライトワーク拠点 (小規模レンタルオフィス)</li> <li>カンファレンス施設</li> <li>ビジネス拠点 (事業用地、オフィス床)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代モビリティ、自 動運転サービス（レン タカー的役割）</li> </ul>
<b>観光分野</b>	(団体旅行ではない) <u>外国人観光客</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光支援機能（インフォ メーションなど）</li> <li>物産・物販、飲食施設な ど（待ち時間を活かした 滞在）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代モビリティ、自 動運転サービス（観光 タクシー的役割）</li> </ul>

## 6. 本日のまとめ（触媒的な働きをするまちのイメージ（案））

- 各分野における触媒的な働き（案）を整理した。本日の意見も踏まえつつ、今後、この検討を深化させる。
- 民間資金を最大限活用しながら触媒的な働きを実現するための方策についても、あわせて検討を行う。

### 触媒的な働きをするまちのイメージ（案）

